

(2) 市民文化系施設

ア 集会施設（文化施設）

① サービス状況

本市では、市民活動の推進、市民交流の促進、社会教育の充実及び福祉の増進を図ることを目的に、公民館やコミュニティ施設等の集会施設を設置しています。

これらの施設は、市民同士の交流と自主的な活動を行うコミュニティ施設であり、打合せ、研修、趣味・学習活動等に利用できる会議室等を有しています。

集会施設は11施設で合併前の旧1市3町ごとにあり、本庁、支所、出張所単位で整備され、このうち本庁、各支所単位では支所とは別に公民館単体で整備されていますが、各出張所単位では出張所と公民館の複合施設となっています。

なお、公民館なかには、油谷地区のようにラポールゆや（文化施設）の中に公民館機能を集約したものもあり、文化交流活動や市民の生涯学習活動の実践などの拠点となっています。

② 建物状況

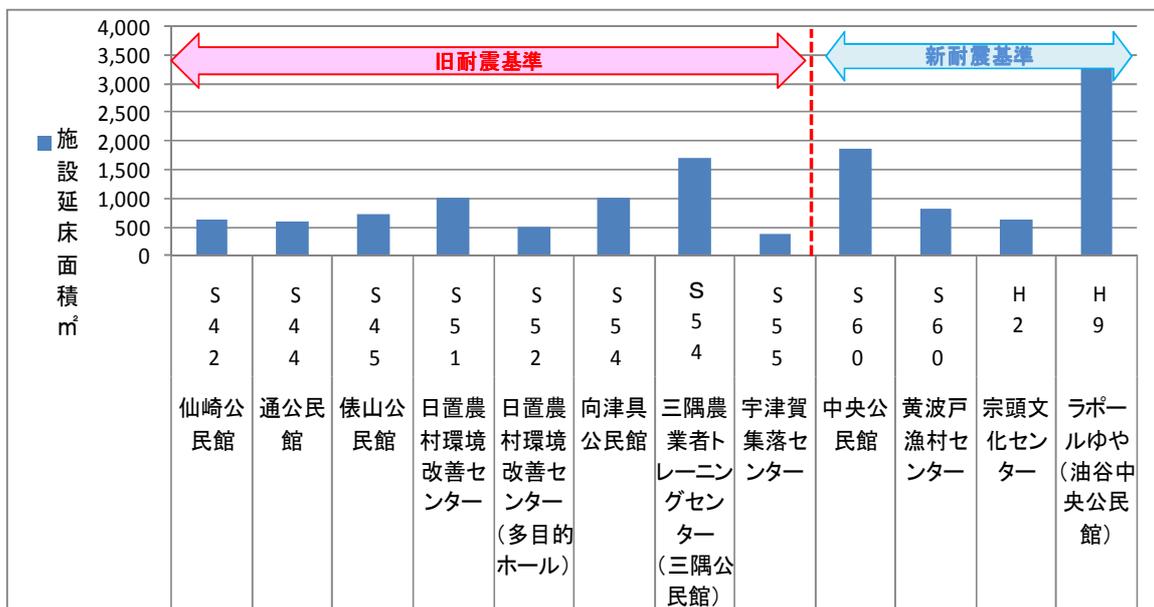
中央公民館、黄波戸漁村センター、ラポールゆや等は、建築後30年未満であり新耐震基準の建物ですが、それ以外の公民館等は昭和40年代～50年代に建築されたものが多く、今後は耐震化や老朽化対策が必要になってきます。

公民館については、安全性の確保の観点から、老朽化対策にあわせ、耐震化への対応についても早期に計画し実施していく必要があります。

◆ 主な建物一覧

No	建物名	併設施設	建設年度	構造	地上	地下	施設延床面積(m ²)	耐震化実施状況	
								耐震診断	耐震改修
1	通公民館	通出張所	S44	RC	2		606	未実施	未実施
2	仙崎公民館	仙崎出張所	S42	RC	2		615	未実施	未実施
3	俵山公民館	俵山出張所	S45	RC	2		710	未実施	未実施
4	中央公民館		S60	RC	2		1,861	未実施	未実施
参考	三隅農業者トレーニングセンター (三隅公民館)		S54	RC	2		2,023	未実施	未実施
5	宗頭文化センター		H2	W	2		636	未実施	未実施
6	日置農村環境改善センター(多目的ホール)		S52	S	1		512	未実施	未実施
7	日置農村環境改善センター		S51	RC	2		1,010	未実施	未実施
8	黄波戸漁村センター		S60	RC	1		814	未実施	未実施
9	向津具公民館	向津具出張所	S54	RC	2		1,012	未実施	未実施
10	宇津賀集落センター	宇津賀出張所	S55	RC	1		384	未実施	未実施
11	ラポールゆや(油谷中央公民館)	図書館ゆや分館	H9	RC	2		3,413	未実施	未実施
	全体						11,572		

◆築年度別の整備状況



③管理運営状況

集会施設は、基本的に年末年始の休館日以外は土日祝日も開館しており、時間は8時30分～22時です。なお、公民館兼文化施設であるラポールゆやでは、文化施設としては月曜日が休館日ですが、公民館部分は業務を行っています。

また、施設のほとんどを基本的に市の直営で運営していますが、俵山公民館は、平成20年度から指定管理者制度を導入し、地元団体が主体となって運営しています。

◆開館状況一覧

No	施設名	併設施設	運営形態	開館状況			
				開館日		休館日	
				平日	土日祝	定期休館日	備考
1	通公民館	通出張所	直営	8:30~22:00	年末年始12/29~1/3	夜間は宿直対応	
2	仙崎公民館	仙崎出張所					
3	俵山公民館	俵山出張所					
4	中央公民館						
5	三隅農業者トレーニングセンター(三隅公民館)						
6	宗頭文化センター						
7	日置農村環境改善センター						
8	黄波戸漁村センター						
9	向津具公民館	向津具出張所					
10	宇津賀集落センター	宇津賀出張所					
11	ラポールゆや(油谷中央公民館)	ラポールゆや	指定管理		月曜日、月曜日が祝日の場合は翌日、年末年始12/29~1/3	公民館と文化施設の複合施設で、公民館は年末年始を除き開館	

④利用状況

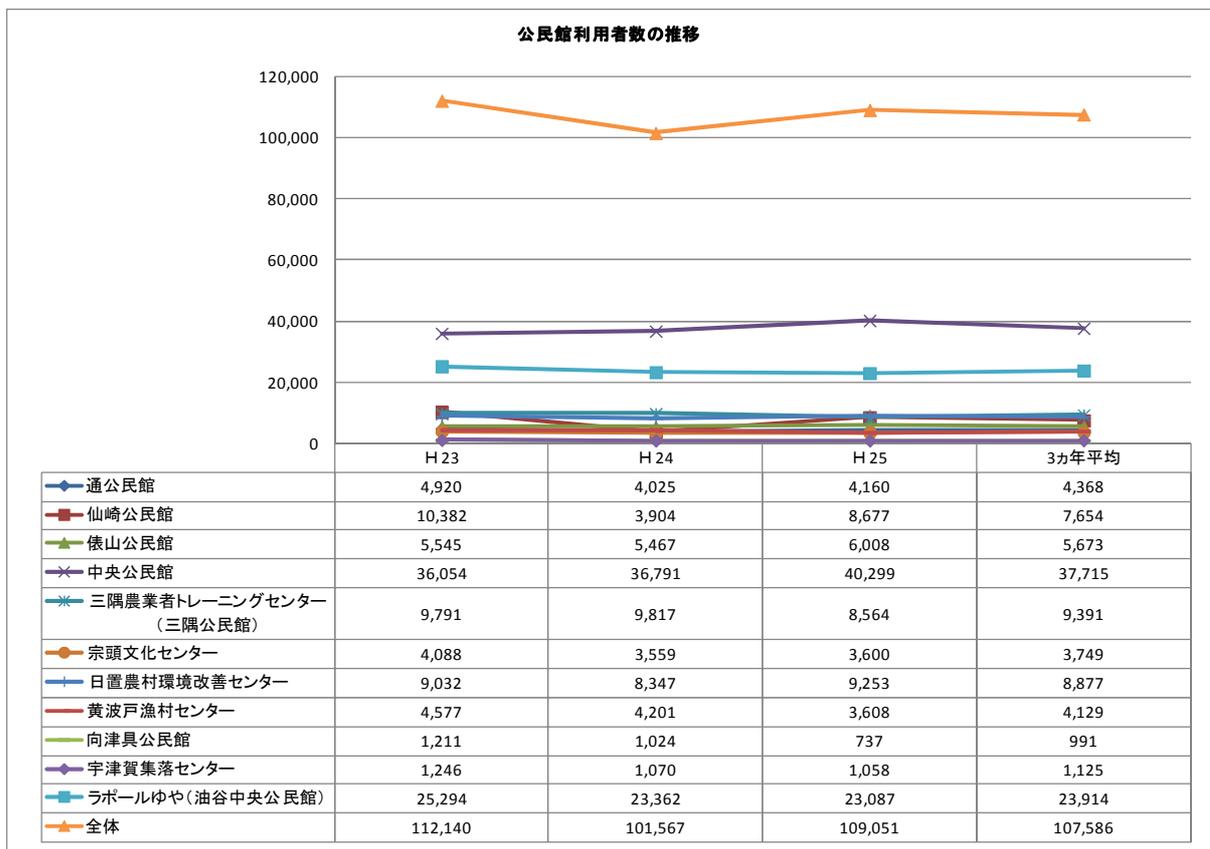
公民館等の集会施設全体の窓口の利用件数（平成23年～25年の3カ年の平均）は、全体で約10万8,000人の利用があり、ほぼ横ばい状態です。

施設別に見ると、長門地区の中央公民館が約3万8,000人で一番多く、次いで油谷地区のラポールゆやが約2万4,000人の利用となっています。これらの施設には、数百人規模が収容可能な大ホール等があり、市内全域を対象とした講演会等の大規模な行事も開催されています。

一方、出張所と併設の公民館については、施設規模が小さく地域住民による利用が中心であることから、上記の大規模な施設と比較すると利用者数は少なくなっています。

なお、参考ですが、利用者数だけでなく各施設の対象エリアの人口を考慮すると、俵山公民館、黄波戸漁村センターが比較的利用が多くなっています。

◆各施設の利用状況



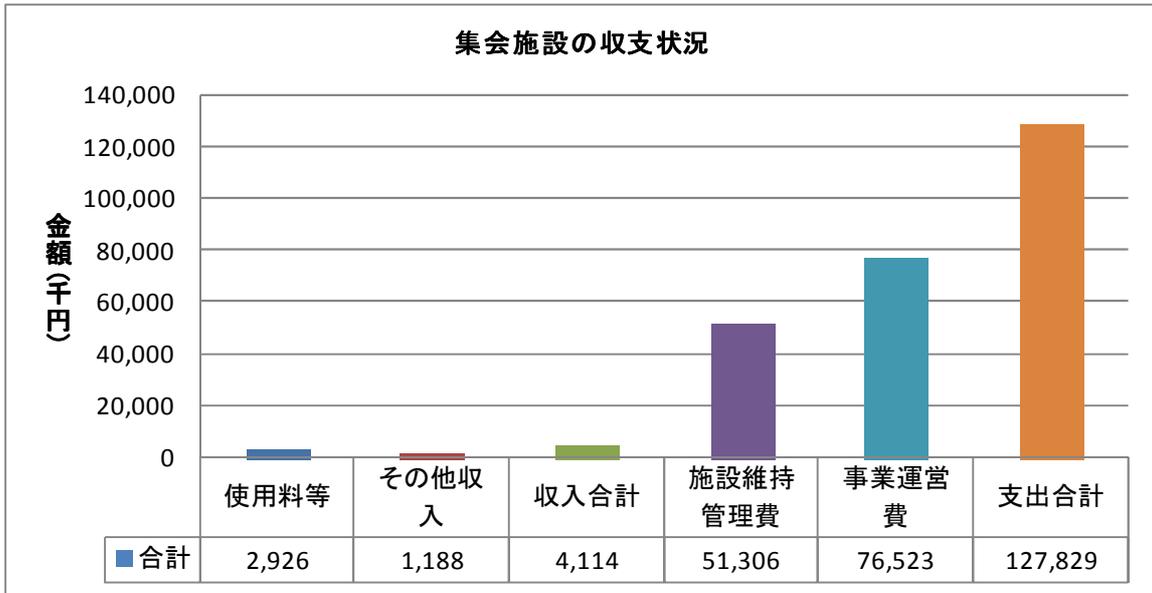
⑤コスト状況

集会施設全体の収入（平成23～25年度の3か年平均）は、施設使用料等年間約410万円の収入があり、そのうち、使用料または利用料金が約290万円で約7割を占めています。

一方、支出（平成23～25年度の3か年平均）は、全体で年間約1億2,800万円となっており、収入を大きく上回っています。

内訳を見ると、事業運営費（多くは人件費）が約7,600万円、施設維持管理費が約5,100万円となっています。

◆維持管理経費の状況



なお、これを年間の利用人数（約10万8,000人）当たりの支出に換算すると、利用者1人当たり1,188円の費用がかかっていることになります。

また、参考ですが、施設別に見ると、利用者1人当たりの費用が多い施設では4,886円となっており、全体平均の約4倍、少ない施設と比較すると約28倍の費用がかかっています。

⑥まとめ

本市の集会施設は、市民同士の交流と自主的な活動を行うコミュニティ施設であり、市役所の本庁、各支所単位では公民館単体で整備され、各出張所単位では出張所と公民館の複合施設となっています。

建物状況は、今のところ建築後30年未満のものもありますが、各地域の公民館（出張所併設）を中心に30年以上経過し、旧耐震基準で建てられ建物が面積割合でおよそ半分を占め、今後老朽化対策もしくは更新が必要になります。

管理運営状況については、現在は直営中心ですが、地元コミュニティ団体を指定管理者として選定し運営を委ねているものもあります。

利用状況は、公民館等の集会施設全体の利用件数は年間約10万8,000人で横ばい状態

第3章 公共施設の現状

であり、大規模施設において利用者数が多くなっていますが、施設の対象エリアを考慮すると、小規模でも利用率が高い施設もあります。

コスト状況は、全体で年間約1億2,800万円となっており、利用者1人当たり1,188円ですが、利用者数の少ない施設と多い施設では差が大きいことから、今後、利用向上に向けた事業の実施や、施設の効率的な利用の検討、コスト縮減に向けた取組みなど、管理運営について更なる検討が必要であると考えられます。

